

市内各地で行われたイベントやまちの話題をお届けします。

4 未来への希望 524人が成人へ

1月4日、ありえコレジヨホールで成人式を開催し、新成人524人(男268、女256)のうち、410人が出席しました。

新成人を代表して、中川 七星さん(加津佐町)が松本市長から成人証書を受領しました。

続いて行われた式辞で松本市長は、「熱い想いとふるさと南島原で育まれた皆さんの個性を大切に、力強くそれぞれの道を切り拓いてください」と述べました。

また、「二十歳の誓い」では2人が登壇し、植木 涼介さん(布津町)は、「従来の枠組みにとらわれず、未来へ向けた挑戦を続けていきたい」と話しました。また、宮野 奏子さん(南有馬町)は「今こそ世界はグローバル社会“ワンチーム”の姿を描くべき。自身もチームの1人として貢献したい。そして、自己研鑽に努め、誇りと勇気をもって新しい時代を生きる若者として成長していきたい」と決意を述べました。



4

5 堂々たる消防出初式

1月5日、ありえコレジヨホールで消防出初式を開催しました。式典では、長年にわたり消防団活動に尽力した団員や、全国女性消防操法大会で好成績を取めた出場団員を表彰しました。

被表彰者を代表して、元有家地区団長の佐藤 勝秀さんが「団員仲間とともに充実した消防団生活を送ることができた。この経験を誇りにし、今後の人生の糧にしたい」と謝辞を述べました。また、南島原市消防団の大山団長は「近年の自然災害の頻発により消防団への市民の期待は高まっている。消防技術の錬磨に精励し、強い信頼と団結を築いてほしい」と話しました。

式典後の分列行進を終えると、有家漁港で火災のない1年を願い、一斉放水を行いました。



5

南島原タイムトリップ

～あの頃、君は若かった～



今月の写真

Q. さて、ここはどこでしょう？
A. 答えは次ページの下段をご覧ください。

いつまでもお元気で
～100歳おめでとうございませ～



吉田 正さん(有家町)
大正8年12月20日生まれ

苑田 サエさん(有家町)
大正9年1月12日生まれ



1

1 南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト

12月26日、西有家総合学習センターカムスで「令和元年度南島原市イングリッシュ・パフォーマンスコンテスト」を開催しました。

市内各中学校から総勢16人の生徒が、教科書の英文などを題材に日ごろ培ってきた学習の成果を堂々と発表しました。

最優秀賞には、中島 和香奈さん(加津佐中3年)、優秀賞には、長野 花琳さん(深江中3年)、松尾 桜咲さん(北有馬中1年)が選ばれました。

2 地域の力を考える集いを開催

時代に即した地域リーダーの育成や関係団体との連携強化、課題解決の仕組みづくりや持続可能な組織の形成を図るため、昨年12月に「第3回地域の力を考える集い」を市内4会場で開催しました。

会場では、市内高校生や各団体による発表や活発な意見交換が行われました。

参加者からは「市内の高校生が地域のことをしっかり考え、実践を重ねていることは素晴らしい」、「どこの自治会も会長のリーダーシップでまとめられ、生き生きと活動されていて素晴らしい」などの意見が出され、これからの地域のあり方について、世代を超えて考える機会となりました。



2

3 県発明くふう展で最高賞

第67回長崎県発明くふう展で、隈部 佐和子さん(有家町)の「ゴミ箱取り付け用ゴミ圧縮器具」が、最高賞である県知事賞に輝きました。

隈部さんの作品は、ゴミ箱に装着し、レバーを握ってゴミを圧縮する装置。各家庭のあらゆるゴミ箱に装着可能なものとなりました。すでに製品化も済ませており、インターネットで販売されています。

今回の受賞を受け、隈部さんは「これまで約10年、発明・開発してきたことの苦勞が報われたようで、とても嬉しい。今後は、多くの人たちに使っていただき、ゴミ袋の節約、エコにつながれば」と話しました。



3